



県政フラッシュ



9/15 第8回 国際アビリンピック参加選手が 仲井眞知事を表敬



仲井眞知事に大会出場を報告する 瑞慶覧さんと金城さん

韓国ソウルで9月25日から開催された「第8回国際アビリンピック」に沖縄県から日本代表として出場した金城真美さんと瑞慶覧朝幸さんが、大会出場に先立ち、仲井眞知事を表敬訪問した。

国際アビリンピックは、障害者の職業技能を競い合う国際大会で、金城さんと瑞慶覧さんはコンピュータを駆使して建築物の図面を作成する「建築CAD」競技の代表として活躍が期待されている。

お2人は「日頃の練習した成果を十二分に出し、入賞を目指したい」と抱負を述べた。仲井眞知事は「日本代表として活躍が楽しみです。頑張ってください」と激励した。

9/15 新百歳長寿者をご招待して お茶会を開催



お茶会に参加した 新百歳長寿者の皆様と仲井眞知事

老人の日にあたる9月15日、今年度新たに百歳を迎える7名の長寿者をご招待し、お茶会を開催した。このお茶会は、新百歳の長寿をお祝いするとともに、県民の敬老思想の高揚を図り、併せて沖縄における元気高齢者をアピールすることを目的に実施。当日は識名園の御殿内において、ぶくぶく茶を手に琉球路次楽や古典舞踊など、沖縄古来の文化を楽しんだ。

新百歳長寿者からは、知事に対して「まだまだ若い」という激励も飛び出し、さすがの知事もこのときは若者扱いであった。

今年度新たに百歳を迎える方は9月1日時点で329人、百歳以上は920人となっており、人口10万人あたり比率では島根県、高知県に続いて3位となった。

9/19 知事が米首都 ワシントンDCで講演



ジョージ・ワシントン大学で講演する仲井眞知事

仲井眞知事は米首都ワシントンDCのジョージ・ワシントン大学で開かれた安全保障や日米同盟に関する専門家等が参加する沖縄クエスチョンにおいて、普天間飛行場の辺野古移設案は事実上不可能であるという沖縄の実情を説明し、国内の他の都道府県への移設が、最も合理的かつ早期に課題を解決できる方策である旨の講演を行った。翌20日は、レビン、ウェッブ、マケイン米上院議員と相次いで会談するとともに、ナショナルプレスクラブで記者会見を行った。

今回の訪米で、普天間飛行場移設問題を直接説明する機会を持ったことで、有識者等とのネットワークの構築が図られるとともに、米国における同問題の理解の前進が期待される。

9/28 ユナイテッド航空により グアムー那覇直行便就航



上原副知事らから歓迎を受ける初便乗客

ユナイテッド航空によるグアムー那覇路線が開通され、上原良幸副知事、沖縄観光コンベンションビューローの安里繁信会長、ユナイテッド航空アジア太平洋地区副社長のジェームス・ミュラー氏ら関係者が初便を出迎えた。

到着後、初便乗客にはミス沖縄から一人一人星砂と紅型のハンカチがプレゼントされ、記念撮影を行った。

上原副知事は「アメリカ本土へも東京などを經由する必要がなく、利便性の向上が見込まれ、相互の交流が深まることを期待する」と挨拶し、初便就航を歓迎した。

目次

- 2 県政フラッシュ
- 4 **特集1** 第32回全国豊かな海づくり大会～美ら海おきなわ大会～
- 6 **特集2** 第40回沖縄県芸術文化祭
- 8 **特集3** 児童虐待から子どもたちを守る
- 10 飛び出せOKINAWA!! ヒト・モノ・企業のクワジヨブ 「ダンサー・振付師 仲宗根梨乃」
- 12 県のうごき1 離島フェア2011
- 13 県のうごき2 11月25日から12月1日は 犯罪被害者週間です
- 14 情報ひろば お知らせ
- 16 つながりつづくよ人の輪地域の和 「宜野座村」

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみならず、観光客や関係者にもお伝えする冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用できる施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗、モノレール各駅で無料配布しています。

本号とバックナンバーは 県広報課ホームページで ご覧になれます。

美ら島沖縄 検索

<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>

沖縄県知事公室広報課 TEL.098-866-2020

表紙について
次代へつなげたい沖縄
師匠から弟子へつなぐ「琉球舞踊」

琉球舞踊は、中国から訪れる冊封使をもてなす接待の儀として築きあげられたものです。「古典舞踊」は、女踊り、二才踊り、若衆踊り、老人踊りの4つに分けられ、その他に、明治以降に出来た、「雑踊り」、「創作舞踊」そして、各地域に根ざした芸能として受け継がれていた「民俗舞踊」があります。
(撮影協力:玉城節子琉舞道場)

15日	世界エイサー大会開会式
14日	表敬 ベネスエラポリバル共和国 駐日大使 石川成幸氏 表敬 沖縄セルラ(株) 電話(株) (財)沖縄県体育協会へのスポーツ振興募金贈呈式 表敬 ハワイ州知事 ニールバクロンビー氏 表敬 ポリビア多民族国駐日大使 比嘉ルイス氏 表敬 中国福建省外事弁公室 主任 宋克寧氏 世界のウチナンチュ大会開会式
13日	面談 民主党副代表 北澤俊美氏 世界のウチナンチュ大会前夜祭パレード・知事招宴
12日	表敬 ベルギー沖縄県人会会長 高原ルイス氏ほか 表敬 ブラジル沖縄県人会会長 与那嶺真次氏ほか 表敬 北米沖縄県人会会長 吳屋君子氏ほか 第15回WUB世界大会 沖縄2011
11日	懇談 沖縄及び北方担当大臣 川端達夫氏 表敬 ハワイ沖縄連合会会長 仲宗根ノーマン氏ほか 海外功労者等表彰式(ウチナンチュ大会)
10月	「日本赤十字社活動支援自動販売機設置」に関する調印式 表敬 カナダレスブリッジ文化協会ほかカナダ3県人会長 表敬 海外功労者等表彰式(ウチナンチュ大会)
9日	第41回那覇大綱挽
6日	知事上京(7日まで) 新那覇空港ターミナルビルに関する要請など
5日	表敬 外務省北米局長 伊原純一氏
30日	表敬 外務省沖縄事務所 樽井澄夫大使
28日	ユナイテッド航空初便就航歓迎式
27日	表敬 内閣官房副長官 齋藤勲氏
26日	沖縄政策協議会沖縄振興部会
19日	知事訪米 沖縄クエスチョン出席
16日	表敬 琉球新報社主催シンポジウム「基地跡地利用を考える」 沖縄ホーム(株) 世界のウチナンチュ大会協会賛金贈呈 表敬 三井物産株式会社取締役会長 植田松雄氏
15日	表敬 平成23年度老人の日・老人週間特別事業 第8回国際アビリンピック参加選手

9月 県政日誌

沖縄の人口・世帯の動き



豊かな海をつくるため、海の中だけでなく、海岸の清掃活動や赤土などの流出防止活動も幅広く行っていくことも重要です。来年の大会に向けて、次世代を担う子供たちが海に親しみ、海への関心

美ら海おきなわ大会の基本方針

- ① 水産業を活気づける美ら海づくり
- ② 未来に残す美ら海づくり
- ③ 美ら海と共生する次世代の人づくり
- ④ 「美ら海の恵み」魅力発信
- ⑤ 「東日本大震災」の復興支援への協力

「美ら海おきなわ大会」において、この温暖できれいな海で育まれてきた、個性豊かな沖縄の水産業と水産物の魅力を全国に発信するため、五つの基本方針を策定しました。

「美ら海おきなわ大会」の特徴

平成二十四年の「美ら海おきなわ大会」は、我が国で唯一の熱帯性のサンゴ礁海域において開催される初めての大会です。

「美ら海おきなわ大会」において、この温暖できれいな海で育まれてきた、個性豊かな沖縄の水産業と水産物の魅力を全国に発信するため、五つの基本方針を策定しました。

大会テーマ「まもろうよきせきのほしのあおいうみ」

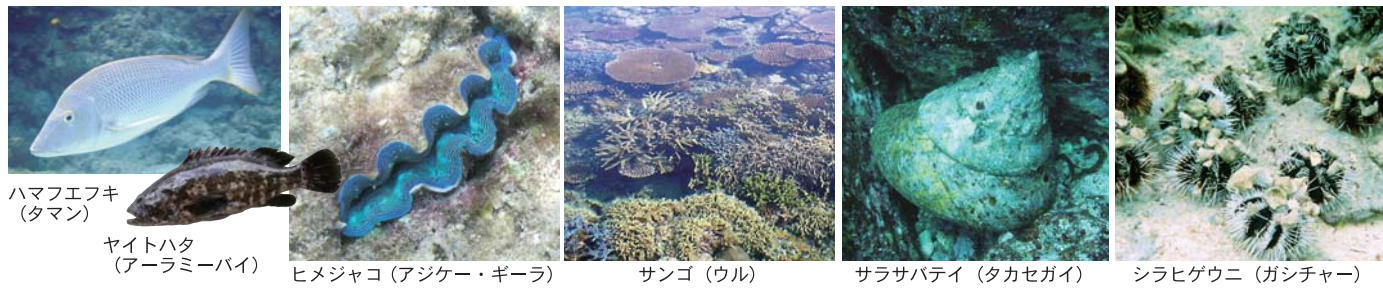
大会キャラクター「アバサンゴ」

大会テーマには浦添小学校六年生 梁雄晃くんの作品「まもろうよきせきのほしの あおいうみ」。大会キャラクターには豊見城市の糸永 泰子さんの作品「アバサンゴ」が、大会テーマ五二〇点、大会キャラクター一九四〇点の応募作品の中から選ばれました。

稚魚や稚貝を放流します

「美ら海おきなわ大会」では、稚魚や稚貝などの放流も行います。

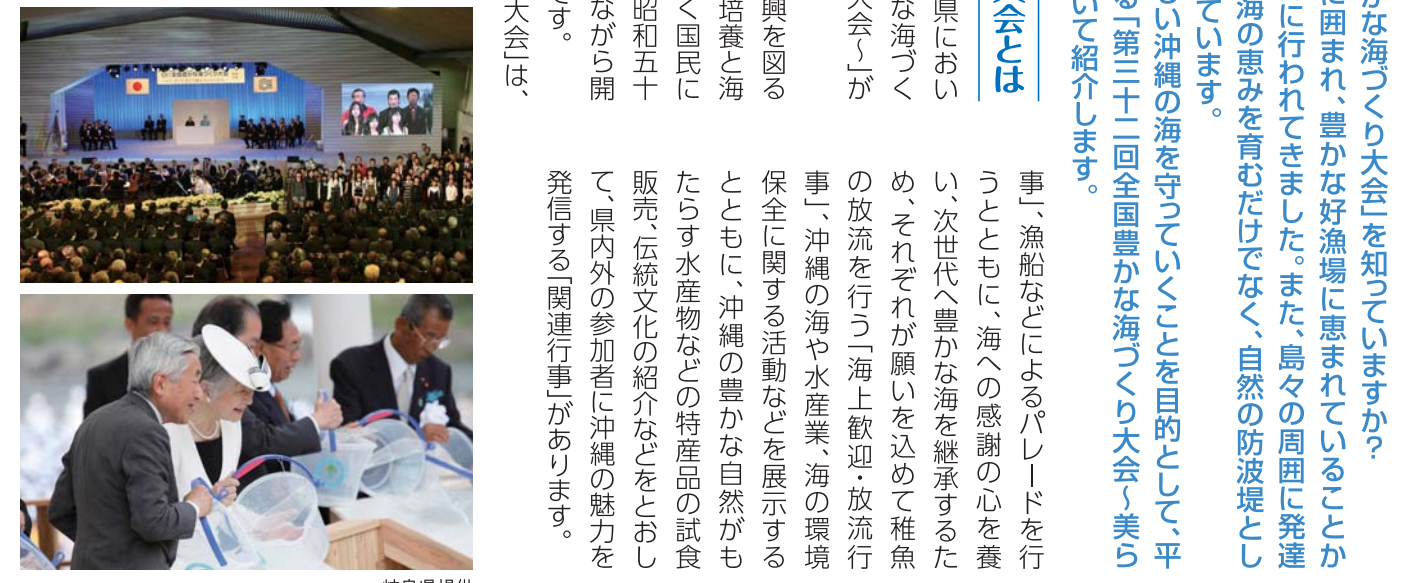
放流するのは、ハマフエフキ(方言名:タマン)、ヤイトハタ(同:アーラミーバイ)、ヒメジャコ(同:アジケー・ギーラ)、サンゴ(同:ウル)、サラサバテイ(同:タカセガイ)、シラヒゲウニ(同:ガシチャー)を予定しています。

みなさんは、「全国豊かな海づくり大会」を知っていますか？

沖縄県は、周囲を海に囲まれ、豊かな好漁場に恵まれていることから、古くから漁業が盛んに行われてきました。また、島々の周囲に発達した美しいサンゴ礁は、海の恵みを育むだけでなく、自然の防波堤として私たちの暮らしを守っています。

このように豊かで美しい沖縄の海を守っていくことを目的として、平成二十四年に開催される「第三十二回全国豊かな海づくり大会」美ら海おきなわ大会」について紹介します。



平成二十四年秋に沖縄県において、「第三十二回全国豊かな海づくり大会」美ら海おきなわ大会」が開催されます。

この大会は、水産業の振興を図るとともに、水産資源の維持培養と海の環境保全の大切さを広く国民に訴えることを目的として、昭和五十六年から全国各地を巡りながら開催されている国民的行事です。

来年の「美ら海おきなわ大会」は、海人(漁師)のまちとして知られ、水産業が盛んな糸満市において開催されます。

大会の行事としては、例年、天皇皇后両陛下の御臨席を賜り、豊かな海づくりのために功績のあった団体の表彰や漁業後継者による決意表明、大会決議などを行う「式典行

事」、漁船などによるパレードを行うとともに、海への感謝の心を養い、次世代へ豊かな海を継承するため、それぞれが願いを込めて稚魚の放流を行う「海上歓迎・放流行事」、沖縄の海や水産業、海の環境保全に関する活動などを展示するとともに、沖縄の豊かな自然がもたらす水産物などの特産品の試食販売、伝統文化の紹介などをおして、県内外の参加者に沖縄の魅力を発信する「関連行事」があります。

岐阜県提供

「1年前プレイベント」を開催します

来年の「美ら海おきなわ大会」の開催を記念し、1年前プレイベントとして11月12日(土)、13日(日)の2日間、糸満市にある沖縄県水産公社(糸満漁港北地区内)において、「おきなわ豊かな海づくりフェスタ2011 in 糸満」を開催します。

このイベントでは、大会旗や大会テーマ・キャラクターのお披露目、記念放流などのほかに、水産業や海の環境保全に関する企画展示、鮮魚や水産加工品などの試食販売、お魚つかみ取りやマグロ解体ショー、県の調査船の一般公開など、盛りだくさんのイベントを行います。

お問い合わせ 県全国豊かな海づくり大会推進室 TEL:098-866-2952 FAX:098-866-2679



【美術部門】
沖縄県知事賞
「LACANS」 鶴見 伸



【写真部門】
沖縄県知事賞
「まいふな」 島元 智



【書道部門】
沖縄県知事賞
「水南晩眺」 金城 真紀子

体験教室 ～芸術とふれあう～

本展開催期間中、体験教室を開催します。(県立博物館・美術館 1階 特設スペースほか)

写真教室

【作品講評会】……当日先着40名まで 参加無料 ◇12月4日(日)10:30～12:00

【モデル撮影会】……13:00から受付 参加料1,000円
当日先着16名まで/参加者各自カメラ持参のこと ◇12月4日(日)13:00～16:00

書道体験教室 当日先着20名まで/表示している開始時間毎に受付/参加無料

芸術祭の審査員から直接指導が受けられます。

◇11月27日(日)10:00～12:00、13:00～15:00、15:00～17:00
◇12月3日(土)10:00～12:00、13:00～15:00、15:00～17:00
◇12月4日(日)10:00～12:00、13:00～15:00、15:00～17:00

キッズカメラマン体験教室 随時受付 参加無料

◇12月3日(土)13:00～17:00 ◇12月4日(日)13:00～17:00

第40回 沖縄県芸術文化祭

沖縄県では、「平和で安らぎと活力のある文化の薫り高い県づくり」をめざし、県民の皆様が文化芸術活動に自ら参加できる環境づくりを進めています。

沖縄県芸術文化祭は、昭和四十七年から開催しており、今年で40回目を迎えます。県民の多様な芸術活動を奨励し、広く県民に芸術鑑賞の機会を提供することを目的に毎年開催し、多くの皆様にご来場いただいています。

公募展

公募展は、写真・書道・美術の三部門があります。

今年も数多くの作品応募があり、応募作品五七九点(写真一九九点、書道一八六点、美術九十七点)について各部門ごとに厳正な審査が行われ、入選作品三二六点(写真百十二点、書道四三三点、美術六十二点)の中から県知事賞、優秀賞、奨励賞、新人賞などの入賞作品が選ばれました。

本展は、十一月二十六日(土)から県立博物館・美術館において開催し、本展開催期間中には、キッズカメラマン体験教室、書道教室、写真教室(作品講評会、モデル撮影会)などの体験教室も同時に開催されます。

また、十一月七日(水)から「東村立山と水の生活博物館」、十一月十四日(水)から「恩納村博物館」にお

開催日程

【本展】

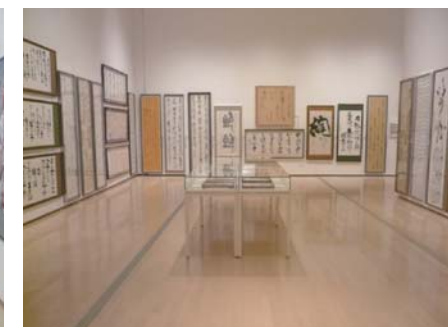
県立博物館・美術館 平成23年11月26日(土)～12月4日(日)
写真・書道・美術 公募展

【写真選抜展】

東村立山と水の生活博物館 平成23年12月7日(水)～11日(日)
恩納村博物館 平成23年12月14日(水)～18日(日)

入場無料

いって写真選抜展が開催されます。ぜひ、多くの県民の皆様が足を運びいただき、高いレベルの芸術文化に触れる機会としていただきたいと思います。







お問い合わせ

(公財)沖縄県文化振興会 TEL:098-888-3888 FAX:098-888-3891
県文化振興課 TEL:098-866-2768 FAX:098-866-2122

児童虐待とは？

児童虐待の防止等に関する法律では、保護者がその監督・保護する児童(18歳未満の者)に対して行う次のような行為と定めています。

<p>性的虐待</p> <ul style="list-style-type: none"> ●児童への性交、性的暴行 ●性的行為の強要 ●性器や性交を見せる ●児童ポルノの被写体にするなど 	<p>身体的虐待</p> <ul style="list-style-type: none"> ●殴る、蹴る、叩く、激しく揺さぶる ●熱湯をかける、おぼれさせる ●たばこの火を押しつける ●投げ落とす、逆さづりにする ●冬に部屋の外に閉め出す ●意図的に子どもを病気にさせる など 
<p>心理的虐待</p> <ul style="list-style-type: none"> ●言葉で脅かす ●他の兄弟と著しく差別的な扱いをする ●児童を無視したり拒否的な態度を示す ●児童の心を傷つけるような言動をする ●配偶者間暴力(いわゆるDV)に日常的にさらす など 	<p>ネグレクト(養育の放棄・怠慢)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●児童を家に残したままたびたび外出したり、車などに長時間放置したりする ●病気になっているのに病院に受診させない ●下着などを替えさせず不潔なままにする ●適切な食事を与えない ●登校する意志がある児童を登校させない など 

このような児童を見つけたり、疑いがある場合は以下の連絡先へ通告します
(虐待が行われているかどうかの調査は児童相談所等で行います)

窓口	電話番号	相談時間
県中央児童相談所 (おきなわ子ども虐待ホットライン)	098-886-2900	24時間・365日
県コザ児童相談所	098-937-0859	8:30~17:15 (祝祭日、年末年始、慰霊の日を除く月~金)
各市町村の担当窓口	—	各市町村によって異なります

※現に虐待が行われ、児童の生命身体に危害が加えられている場合など、緊急の場合は「110番通報」してください。

児童虐待から子どもたちを守る

守るのは気づいたあなたのその勇気



児童虐待の現状

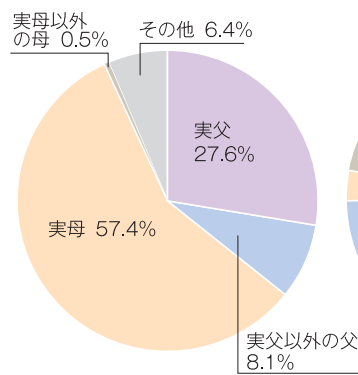
近年、全国的に児童虐待が増加し、児童が死亡する重大事例も発生しています。児童虐待は子どもに対する重大な権利侵害であり、その防止に向けて社会全体で取り組む必要があります。

平成二十二年年度の県児童相談所における児童虐待処理件数は四百二十件となっており、ここ数年高止まりの傾向を示しています。虐待の種類では、ネグレクトが四十一パーセントで最も多く、次に身体的虐待となっています。主な虐待者は、実母が最も多く、実父と続いています。

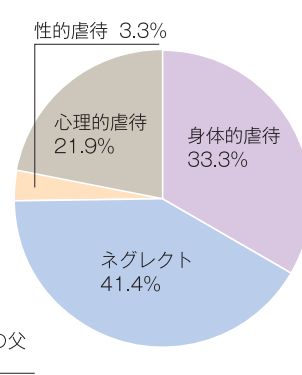
児童虐待かな?と思ったら

児童虐待の防止等に関する法律では、「児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、速やかに、児童相談所等に通告しなければならぬ」と定めています。現に虐待を受けている児童を発見したときはもちろん、虐待を受けているのではないかと感じたら、迷わず通告してください。通告を受け、市町村、県福祉保健所または児童相談所で虐待があったかどうかの調査を行います。また、通告者が特定されないように配慮

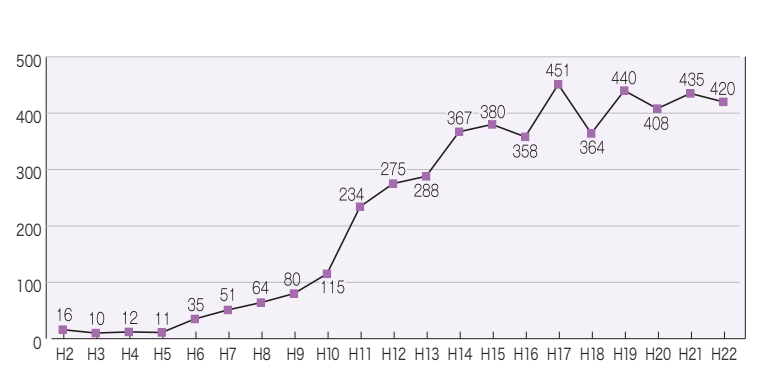
■ 主な虐待者(H22沖縄県)



■ 児童虐待の種類(H22沖縄県)



■ 児童虐待処理件数の推移(沖縄県)



児童虐待を防ぐために

県民の皆様からの早期の通告が、虐待の未然防止・早期発見につながり、子どもを虐待から守る大きな一歩となりますので、ご協力よろしくお願いします。

保護者の方へ「子育てがうまくできずに自分を責めてしまつた」

「イライラして、つい子どもに当たつてしまえば後悔する」周りに助けしてくれる人がいない「など」、子どもに関して悩みを抱えていますか。このような場合はひとりで悩まず、地域の子育て支援センターや市町村の担当窓口、または児童相談所などに相談しましょう。適切なアドバイスを受けられるとともに、必要に応じた支援が受けられます。

子どもたちへ「家族の誰かにいやなことを言われたりいやなことをされている」

「お腹がすいても家に食べるものがない」「親に叩かれたりして痛い思いをこころ」といったことはありませんか。このような時は、ひとりで悩まないで、学校の先生や近所の信頼できる人に相談するか、次のページにある連絡先に電話をしてください。

講演会のお知らせ

児童虐待防止推進講演会

- 日時 / 平成23年11月26日(土) 14:00~16:00 (開場13:30)
- 場所 / 沖縄県立博物館・美術館講堂
- 講師 / 森田ゆり氏(エンパワメントセンター主宰)

入場無料
事前申込制



お問い合わせ 県青少年・児童家庭課 TEL:098-866-2174 FAX:098-868-2402

飛び出せ!! OKINAWA みんなでグッジョブ運動

ヒト・モノ・企業のグッジョブ

沖縄を飛び出し、県外や海外で認められている
ヒトやモノ・コト、企業のおふれる
パワーをお届けします。

ダンサー・振付師
仲宗根梨乃

今注目のK-POPアイドルの振付も担当しているのよ。

今回のグッジョブはロサンゼルス在住でアジア、アメリカを中心に活躍するダンサー・振付師「仲宗根梨乃さん」です。



エンターテインメントの第一線で活躍する
【仲宗根梨乃さん】



身振り手振り、時には振付を言葉にしてわかりやすく伝える

子どもの頃の夢を
一途に追い求めて

子どもの頃から意志が強く、とにかくダンス好き。「好きなことを一生懸命やっていたら今につながった。結局は練習と努力、そしてハートとパッションがあるかどうか」とこの世界の厳しさを語ります。ダンサーと振付師、それぞれの仕事の魅力については、「ダンサーはどれだけ忠実に振付を再現し、その中で自分らしさを出せるかが大事。パフォーマンスが大好きなので、自己表現ができる喜びがあります。振付師は音楽を聞いたとき、歌詞を読んでひらめいたこと、考えたことを人が踊るとてもクリエイティブな仕事で、エンターテインメント全体が好きだから、二つがとて面白いバランス」と話します。



強い意志を秘めたまっすぐな瞳が魅力的な仲宗根さん

沖縄がはぐくんだ
ポジティブさと
自然体の大らかさ

アメリカであいさつ代わりに「ハイサイ」を広めたり、ダンスに琉球舞踊のエッセンスを盛り込むなど、沖縄を離れてから郷土の伝統文化

かつてマイケルの振付を真似ていた仲宗根さん。今は彼女が振付したK-POPアイドルのダンスを多くの若い世代が真似て社会現象に。「こんなにうれしいことはない」と感慨深げです。



仲宗根さんの指導で
みんなの動きにメリハリが生まれる



振付の通し練習で笑顔の
仲宗根さん

の素晴らしいさを再確認。「沖縄で生まれ育ったことはプラスに働いています。フレンドリーでポジティブなところは、沖縄のいちやればちよーでーやなんくるないさの精神。ウチナーンチュで本当に良かった。」
「やりたいことをやりたいときにやる」というモットーで可能性や未来を切り拓いてきた経験から、「一番大切なのは本人のやる気と行動力。やりたいことは徹底的に研究しチャレンジして。若い世代

ダンサー・振付師として
ワールドワイドに活躍

「ダウン、ダラーンって感じで動くわけ、わかる？」振付を独特の言葉で表現して指導を行うのは、那覇市出身でロサンゼルス在住のダンサー・振付師、仲宗根梨乃さん。小学校五年生の時にテレビで観たマイケル・ジャクソンに衝撃を受け、中学二年生の時は彼のコンサートにさらにインスパイアされ、エンターティナーを意識してアメリカ行きを決意。「マイケルのおかげで自分の中で何かが起こった。人の影響力ってすごい。やる気があれば人は変われると確信しました。」苦手な英語も猛勉強して高校時代には短期留学を経験。十九歳のときに単身渡米し、カレッジに通いながらさまざまなジャンルのダン



個性的なコスチュームで
ポーズを決める仲宗根梨乃さん



琉球ゴールデンキングス専属ダンスチームのワークショップにて音楽に合わせて念入りにウォーミングアップを行う

スクラスやオーディションで技術を磨きました。
現在はアジアやアメリカを中心に活動。ダンサーとしてはアメリカのビッグアーティストのツアー参加など華々しいキャリアを積み、最近では振付師としても活躍。韓国のアイドルグループ少女時代さんや東方神起さん、shineeさんの振付も担当。才能にあふれています。

には「心の声を信じる！」と言いたい。バレエもジャズもできない身体の小さな私でもやれたのだから大丈夫！」とエールを贈ります。「今後は一人のエンターティナーとして何ができるか挑戦したい」。強さとしなやかさを併せ持つ、自然体の生き方が魅力的でした。

何事も徹底的に
取り組むことって大切ね。



「ダンサーとしてのパッション、そしてマイケルという最高のアーティストが先生だったこと。マイケルをお手本にして学び、育ってきたことが評価につながっているんじゃないかと思えます。パックダンサー一人ひとりのダンスまでとことん研究しましたから」と語る仲宗根さん。好きなことには徹底的に取り組む。その姿勢が世界で通用する高い技術や情熱をはぐくんだといえます。

○犯罪被害者給付制度とは!?

殺人等の故意の犯罪行為により不慮の死を遂げた犯罪被害者の遺族または重傷病もしくは障害という重大な被害を受けた犯罪被害者の方に対して、社会の連帯共助の精神に基づき、国が犯罪被害者等給付金を支給します。

犯罪被害者等給付金には、「遺族給付金」「重傷病給付金」「障害給付金」の三種類があります。被害に遭われた方が再び平穏な生活を営むことができるよう支援するものです。詳しくは沖縄県警察本部広報相談課被害者支援室まで。

○犯罪被害者週間とは!?

犯罪の被害に遭われた方々が、受けた被害から立ち直り、再び地域において平穏に過ごせるようになるためには、地域のすべての人々の理解と配慮、協力が重要です。犯罪被害者の方々に対し、より国民の理解を深めるため、「犯罪被害者等基本法」成立日である十二月一日以前の一週間(毎年十一月二十五日から十二月一日)を犯罪被害者週間と定め、集中的に啓発事業等を行っています。

十二月二十五日から十二月二日は犯罪被害者週間です

犯罪被害者給付制度

犯罪被害者等給付金	遺族給付金	<p>額(最高額~最低額)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一定の生計維持関係遺族がいる場合 2,964.5万円~872.1万円 ●それ以外の場合 1,210万円~320万円 <p>(第1順位の遺族が二人以上いるときは、その人数で除した額)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○犯罪被害者が死亡前に療養を要した場合(上限額:120万円) ○その負傷または疾病にかかった日から1年間に於ける保険診療による医療費の自己負担相当額と休業損害を考慮した額の合算額が加算されます。
	重傷病給付金	<p>上限額 120万円</p> <p>(負傷または疾病から1年間に於ける保険診療による医療費の自己負担分と休業損害を考慮した額の合算額)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○犯罪行為によって重傷病(加療1月以上かつ入院3日以上を要する負傷または疾病(PTSD等の精神疾患については加療1月以上かつその症状の程度が3日以上労務に服することができない程度の疾病))を負った犯罪被害者本人
	障害給付金	<p>額(最高額~最低額)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●重度の障害(障害等級第1級~第3級)が残った場合 3,974.4万円~1,056万円 ●それ以外の場合 1,269.6万円~18万円 	<ul style="list-style-type: none"> ○給付を受けられる人 障害が残った犯罪被害者本人 ○「障害」とは 負傷または疾病が治ったとき(その症状が固定したときを含む)における身体上の障害で、法令に定める程度の障害です。(障害等級:第1級~第14級)

お知らせ

- 演題/「女性への暴力 ~被害の実態と支援の視点~」
- 講師/高見 陽子(ウィメンズセンター大阪)
- 日時/平成23年11月25日(金) 15:00~16:30
- 場所/沖縄県立博物館講堂(那覇市おもろまち3-1-1)

※座席に限りがありますので詳しくは……
沖縄県環境生活部県民生活課 TEL.098-866-2187まで事前にご連絡ください。



お問い合わせ

沖縄県犯罪被害者等支援総合窓口 TEL:098-866-4115
●相談日/月曜日~金曜日(年末年始祝日を除く) ●相談時間/8:30~17:15(12:00~13:00除く)

沖縄県警察本部広報相談課被害者支援室 TEL:098-862-0110
●相談日/月曜日~金曜日(祝日除く) ●相談時間/9:30~18:30

離島フェア2011

日時/11月25日(金) 午後1時から午後6時まで
11月26日(土)・27日(日) 午前10時から午後6時まで
場所/沖縄セルラーパーク那覇(那覇市奥武山)



特産品の展示即売会

離島フェア 2011
主なイベント内容



○特産品の展示即売会
離島の農林水産加工品、伝統工芸品や泡盛など、伝統的な特産品から、新たに開発された商品まで、本島ではなかなか手に入らない十八離島市町村の特産品が一堂に集まる離島フェアならではの物産展です。

○離島食堂
離島の素材を活かした名物料理や、離島でしか味わえない食がもりだくさんの離島食堂では、離島フェアは、離島の産業振興と併せて、地域間交流を促進するとともに、新たな地域資源を発掘し、住民自らの創意工夫による地域づくりを支援することを目的として、平成元年度から毎年開催しており、今年で二十三回目を迎えます。

豊かな自然、独自の文化から生まれた特産品の展示即売会や、伝統芸能公演など多彩なイベントを予定しており、十八離島市町村で育まれた恵みや魅力を堪能することができます。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

島のグルメを存分にお楽しみいただけます。

○伝統芸能公演
各離島の個性溢れる伝統芸能や離島出身者による島唄ライブを行います。

○他各種イベント
豪華賞品が当たるお楽しみ抽選会や、離島の風景や日常を描いた絵画コンクール展も同時開催いたします。



お問い合わせ

離島フェア開催実行委員会事務局 TEL:098-963-8191



イベント

宝くじ文化公演のお知らせ

- 公演名
一人形芝居ゲゲの鬼太郎 決戦！竜宮島
- 公演日時 11月25日(金)午後7時開演
宮古島市マティダ市民劇場
- 11月27日(日)午後4時開演
ちやたんニライセンター
- 入場料 全席自由(当日券5000円増)
一般1000円 高校生以下500円
- 問合せ マティダ市民劇場
☎098007219622
ちやたんニライセンター
☎098193613492

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

- 内容 働く障害者の製品展示即売
- 問合せ 財団法人沖縄県セルフセンター
☎098188215663

募集

- 第2回「知りたいけど聞けなかったお金の話」～外貨預金、投資信託、個人年金保険～先着50名
- 日時 11月10日(木)午後7時～8時50分
- 第3回「介護保険サービスの種類と利用に関する基礎知識」先着50名
- 日時 11月15日(火)午後7時～8時50分
- 場所 沖縄県三重城合同庁舎 研修室
- 問合せ 県民生活センター
☎0981866319212

ホストファミリーの募集

- 募集期間 9月26日(月)～11月15日(火)
- 募集内容 内閣府主催「世界青年の船」事業の地方プログラムに係る外国参加青年

- ホームステイ受入家庭の募集
- 受入期間 平成24年1月20日(金)夕方～1月22日(日)午前中
- 受入国 インド共和国、ペルー共和国
- ※11月20日(日)に牧志駅前ほしぞら公民館にて事前説明会・面接会を予定
- 問合せ 県青少年・児童家庭課
☎098186612174

講習・医療事務(医科)

- パソコン操作が可能な概ね40歳までの就職を希望される女性に対して講習を行います。(学生・妊婦を除く)
- 募集期間 平成23年12月5日～平成24年1月25日(月・水・金)午前9時～午後3時
- 場所 労政・女性就業センター(那覇市)
- 申込方法 来所申込 11月21日(月)～22日(火)午前9時～11時30分 午後1時～4時
- 選考方法 筆記試験・面接(11月25日(金)定員20名)
- 受講料 無料(但し、教材費・検定料等は自己負担)
- 内容 医科医療事務管理士の資格取得を目指す。
- 問合せ 県労政・女性就業センター
☎0981866311788



障害児・者等の実態調査

- 「生活のしづらさ」に関する調査(全国在宅障害児・者等実態調査)を、調査対象区に居住する在宅障害児・者等を対象に実施します。
- 調査期間 12月1日～6日
- 調査方法 調査員が調査区内の世帯を訪問し調査票を配布、調査対象者本人による記入、郵送による返送
- ※詳細は調査対象区の市町村窓口まで
- 問合せ 県障害保健福祉課
☎098186612190

労働保険適用促進強化期間

- 11月は労働保険適用促進期間です。「一人でも雇ったら、入ろう。労働保険加入手続きがまだお済みでない事業主の方は、最寄りの労働基準監督署か公共職業安定所で早めに入入手続きを行ってください。」
- 問合せ 沖縄労働局労働保険徴収室
☎098186614038

お知らせ

- ハブ咬症防止運動
例年9月から11月にかけてハブ咬症被害が増加する傾向にあるため、県ではこの3カ月間を「ハブ咬症防止運動月間」として、注意喚起を行い、ハブによる被害を未然に防止するよう呼びかけます。
- 日時 平成23年度9月1日(木)～11月30日(水)
- 問合せ 県業務疾病対策課
☎098186612215

南部地区健康おきなわ21推進大会

- 日時 11月6日(日)午後1時～3時
- 場所 道の駅 いとまん
- 内容 運動実演、健康クイズ、健康づくり優良事業所・優良団体表彰ほか
- ※どなたでもご参加いただけます。入場無料。
- 問合せ 県健康増進課
☎098186612209

経済センサス調査員募集

- 平成24年2月1日に実施する経済センサス活動調査の調査員を募集しています。担当地域の事業所へ、調査票の配布・説明・回収を行っていただきます。
- 応募資格 統計調査に興味があり、責任を持って仕事ができる方
- 任命期間 平成24年1月上旬～平成24年3月上旬
- 申込、問合せ 各市町村統計主管課
- ※任命期間及び募集人数等は市町村により異なります。
- 問合せ 県統計課
☎098186612050

各施設行事予定表

県立博物館・美術館

☆休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)
☎098-941-8200

◆バックヤードツアー
日時:11月5日(土)午前11時～12時(美術館) 午後2時～3時(博物館)
集合場所:当館エントランスホール(美術館) 当館ふれあい体験室前(博物館)
参加費:無料
定員:博物館・美術館各12名(先着)
※午前9時から総合案内にて受付
内容:当館学芸員が、館のバックヤードを案内します。

博物館

◆博物館特別展
「宇宙」～遙かなるロマンを求めて～
日時:11月3日(木)～12月28日(水)
場所:博物館・美術館 特別展示室・企画展示室(3階)
入場料:一般800円(640円)、高校生・大学生500円(400円)、小・中学生300円(240円)
※()内は前売料金及び20名以上の団体料金

◆博物館文化講座
「沖縄の星と石垣島」
日時:11月19日(土) 午後2時～3時(午後1時半開場)
講師:国立天文台石垣島天文台 宮地竹史
場所:博物館・美術館3階講堂
定員:当日先着200名
参加費:無料

キク農家の皆さんへ

東日本大震災でキクの出荷被害を受け、経営維持安定のため沖縄公庫資金を借り受けたキク農家に対し、利子助成を行います。

- 申請・問合せ お住まいの市町村農業担当課
- 問合せ 県農政経済課
☎098186612257

県税・市町村税滞納整理強化月間

11月と12月は「県税・市町村税滞納整理強化月間」です。期間中、沖縄県と県内市町村は、連携して全県一斉に滞納処分(差押)を実施します。納め忘れの場合は早めの納付をお願いします。

- 問合せ 沖縄県市町村税徴収対策支援本部 県市町村課税政班
☎098186612134
- 県税務課企画徴収班
☎098186612101

Sマーク登録促進月間

11月は、Sマーク登録促進月間です。標準営業約款制度「Sマーク」は、消費者の皆さまにご利用いただく際の安全・安心の目印です。

- 問合せ (財)沖縄県生活衛生営業指導センター
☎098189118960

県広報課からのお知らせ

11月放送予定

5日・6日 / 児童虐待防止対策について
12日・13日 / 沖縄県芸術文化祭
19日・20日 / 犯罪被害者週間について
26日・27日 / 障害者週間の集い

テレビ放送時間 / RBC 6:45 QAB 25:55 OTV 6:45

詳しくはホームページへ **沖縄県** 検索 トップページ ▶ 広報・広聴について ▶ 広報誌、テレビ番組、県政出前講座等

県広報課 ☎900-8570 那覇市泉崎 1-2-2 TEL.098-866-2020 FAX.098-866-2467 kouhou@pref.okinawa.lg.jp

ラジオ 県民室

お昼のひととき、県が実施する行事や募集のお知らせなどを行っています。

放送時間/毎週月曜日～金曜日
ラジオ沖縄 (864KHz) 11:50～11:55
RBCi ラジオ (738KHz) 11:55～12:00
F M 沖縄 (87.3MHz) 12:55～13:00

県政出前講座 実施中

現在、96種類の講座を提供中！
県の職員が講師として出向きます。
詳しくはホームページをご覧ください。

つながり つづくよ 人の輪 地域の和



有機の里宣言

村の挑戦は、一人の農家の取り組みから始まった

安全・安心を求める声に村をあげて応える宣言ね!

平成二十二年に県内で初めて、低農薬・低化学肥料の農業を推進する「有機の里宣言」をした宜野座村。水と緑に恵まれた同村は、豊かな自然環境を次世代へつなげる環境保全型農業を軸に「有機の里 宜野座構想」を策定し、食育や地産地消、人の交流も合わせた、さまざまな取り組みを推進しています。

この構想のきっかけとなったのが、同村で志良堂農園を営む志良堂貢さんの農業と化学肥料を一切使わないで行う野菜の栽培でした。今から約十年前、環境に優しい農

宜野座村

環境保全型農業の地道な一歩が地域の力を刺激し、村おこし「有機の里宣言」へつながっています。



宜野座EKO野菜研究会の発足について語る呼びかけ人の志良堂さん(中央)と同会会長の大城さん(左)、仲間さん(右)

EKO農業の普及

行政のサポートが、EKO農業を支える



民間と行政の連携が、強い力を生むんだね。

宜野座EKO野菜研究会の会員五人は、皆、県のEコファーマー認定者。その中の一人、仲間信之さんは「栽培法について、最初はまったくイメージができませんでしたが」と同会に参加した当時は振り返ります。現在、同会では、ベビーリーフを中心に、沖縄県の特別栽培農



ベビーリーフが育つ「高設砂耕栽培」の現場。普段は網目の細かい防虫ネットで囲われている

産物出荷認証を受けた五種類の野菜、ベガナ、ミズナ、カラシナ、てごる菜、ホウレンソウを県内大手スーパーへ出荷しています。また、野菜の生産活動のほか、村で開催されるイベントへの出店など、EKO農業のPR活動も積極的に行っていました。

この同会の地道な活動に対し行政が動き出し、「有機の里」を宣言しました。葉野菜の販売袋の供給や、宜野座村独自のEコ農産物ロゴマークの制定、出荷野菜の確認責任者を行政サイドが担当するなど、EKO農業のサポート体制を整備。「農業の現場が声を発してくれた



「有機の里」の可能性について語る宜野座村産業振興課の伊芸宏夫さん

ことで、具体的な支援ができました」と語るのは同村産業振興課の伊芸宏夫さん。「食べ物への安全・安心を求める時代ニーズや、国が推進する環境保全型農業と合致したEコ農業は村おこしの起爆剤になる」と志良堂さん。地域住民と行政の連携によるEコ農業は、環境保全と地域振興の両立による村おこし機運の高まりへとつながっています。



ぎのざEKO農産物認証マーク入りのベビーリーフ。化学肥料や化学農薬は使わずに栽培

全村民参加型へ

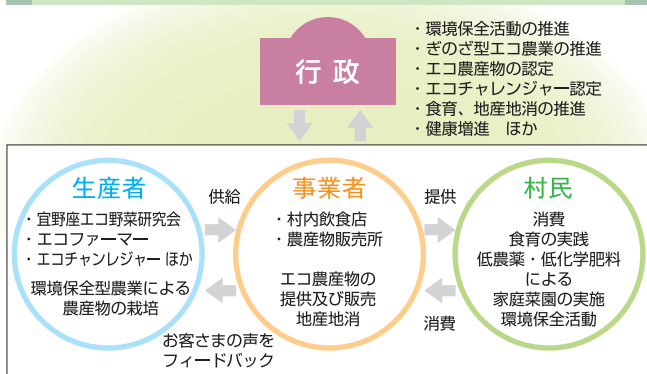
さまざまな分野からすべての村民が参加する村おこしへ

研究会のEコ農業をきっかけに策定された「有機の里構想」。農業関係者以外にも、教育関係者、飲食店関係者など、さまざまな分野から村



村おこしは地道な一歩の積み重ね!

宜野座村「有機の里」宣言



EKO野菜研究会の野菜を使ったメニューを提供する村内飲食店のオーナー金城善彦さん

民が参加しています。村内で飲食店の炭焼家てんぶすを営営する金城善彦さんは、食育・健康増進の分野から参加。「安全・安心な食品の提供と地産地消の考えをもとに、EKO野菜研究会のベビーリーフをお客さまへ提供し、喜ばれています」と笑顔で語ってくれました。伊芸



EKO野菜研究会のベビーリーフは、安全・安心でフレッシュと地元の人や観光客にも好評

さんは、「今後、有機の里構想では、Eコファーマー認定者拡大や、百坪以下の農家および家庭菜園栽培者の低農薬・低化学肥料を推進する宜野座村独自のEコチャレンジャー認定を普及させたい」と行政担当者としての熱い思いに瞳を輝かせます。

同会は平成二十二年には全国環境保全型農業推進会議奨励賞を受賞。農業や化学肥料を使わない栽培を持続させるには常に高い意識をもって取り組まなくては」と有機の里構想において同会が担う役割を力強く語る

会長の大城淳さん。Eコ農業から始まった、すべての村民が村の活力であるという村おこしは、地道に、着実に、その一歩を重



「有機の里宣言」の可能性に、ワクワクするね。

編集後記

10月、11月は涼しくて過ごしやすいため、結婚式が多い季節です。先日、県外の結婚式に初めて出席した際に、沖縄の式との違いに驚きました。出席者が少ない、余興が少ない等々。沖縄の賑やかな式もいいですが、県外の式も落ち着いて雰囲気があり、感動的でした。(kai)

先日、「第5回世界のウチナーンチュ大会」に参加しました。故郷を離れ、数々の困難を乗り越え、海外で活躍してきた先人達は本当にすごい!!と改めて感じました。今月の広報誌の自由企画のページでは、世界を舞台に活躍しているウチナーンチュ、仲宗根梨乃さんを紹介しておりますので、是非ご覧ください。(tama)

平成23年11月1日発行 第35巻11号通巻434号

沖縄県広報誌 **美ら島沖繩**

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課

〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020

アンケート

「美ら島沖繩」の感想をお聞かせください。

▶ パソコンはこちら

▶ 携帯電話は、右のQRコードから

